

**広島県食品営業許可届出管理システム開発業務公募型プロポーザル
選定委員会（第２回）議事録（議事要旨）**

項 目		内 容
1	日 時	令和 7 年 7 月 29 日 10 時 45 分～15 時
2	場 所	広島県庁本館 R 1 会議室
3	出席委員	健康福祉局食品生活衛生課長 総務局県庁情報システム担当課長 健康福祉局食品衛生担当監 健康福祉局東部保健所福山支所試験検査課長 健康福祉局北部保健所生活衛生課長
4	議 題	最優秀提案者の決定に関する審査
5	担当部署	健康福祉局食品生活衛生課
6	開催方法	参集
7	議事内容	1 審査結果 提出された提案書を基にプレゼンテーションを行い、選定委員会において審査の上、最も高い評価値を得た A 社(株式会社静岡情報処理センター)を最優秀提案者として決定した。 2 提案者（参加資格確認申請書提出順） A 社：株式会社静岡情報処理センター B 社：株式会社ハイエレコン 3 各提案者の評価値 「公募型プロポーザル結果一覧」及び「評価基準に基づく評価項目別の総合値」のとおり。 3 提案者ごとの主な評価・選定理由 【A 社：株式会社静岡情報処理センター】 ・他自治体での導入実績が多い。 ・自治体での導入実績も多く、利用自治体からの要望を踏まえたパッケージソフトの機能改善も可能であり、今後の効率的なシステム運用に繋がる提案となっている。 ・画面のプロトタイプ等を活用しながら要件定義を進める提案となっており、現場の声を反映しつつ利便性向上に資するシステム化が図られることが期待できる。 ・サポート体制にやや不安を感じる。 ・自治体導入実績が豊富だが、本県独自のカスタマイズへの対応協議を十分にお願いたい。

	【B社：株式会社ハイエレコン】 ・本県の独自様式等にもカスタマイズで対応する提案となっており、現行の事務フローを踏まえたシステム導入が期待できる。 ・本社が本県にあるので、協議等の対応が容易と考える。 ・内容等について、今後の協議による部分が多く、具体性に乏しいところがある。 ・スケジュールに懸念点がある。 ・他自治体での導入実績が少ない。
--	--